

発行

(公財) 秋田県暴力追放運動推進センター (旧名称 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

闇バイト応募者は身分証などのデータを握られ「断れば家族や友人を殺す」などと脅される例が報道機関などで発表されています。これまで警察が保護した中で、本人・周囲が危害を加えられた例は確認されていない。警察では、闇バイトに巻き込まれた場合の保護にも力を入れています。警察相談専用電話「#9110」や各警察署で相談を受け、今年4月末までに667件を保護しています。保護した内の、4分の1が闇バイトに応募した10代やその家族からの申し出によるものです。警察と弁護士はしっかり守ります。逃げ出す勇気が大切です。

## ◎特殊詐欺阻止活動実施中 ◎賛助会員募集中です。

### ◎少年を守るための対策

匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)から少年を守るためには、複数の対策と少年自身の意識向上が重要です。インターネットやSNS等を通じて募集を行い、少年を使い捨てにする傾向があります。

#### ○警察庁～保護を徹底

16歳の少年4人らが逮捕された栃木県の強盗殺人事件など、トクリュウが絡んだとみられる事件で未成年者の逮捕が相次いでいます。警察庁の楠芳伸長官は「グループに少年が利用されている実態がある」として対策を指示しています。同庁はSNSの情報発信などに力を入れ「決して手を出さず、巻き込まれ

たら警察に相談してほしい」と呼び掛けています。

・トクリュウが関与した事件は、2025年に全国で12,178人が検挙され、うち10代は11%の1,322人です。少年は、強盗、窃盗の実行犯や特殊詐欺の現金受取役など捕まるリスクが高い役割を押しつけられる傾向があるといい、強盗事件では検挙者の4割を10代が占めています。事件に加担した経緯はSNSの「闇バイト」募集が全年代で主流ですが、10代では「知人の紹介」が最多となります。友人・先輩などの人間関係で断れず手を出すケースが多いとみられ、不良グループがトクリュウ化したり、人材供給元になったりした例もあります。トクリュウの、闇バイトを誘い出す際の言葉である「未成年は重い罪にならない」「絶対に捕まらない」は全てうそで「首謀者は身元を隠す工作を徹底し、実行役は逮捕されても構わない使い捨て」という考えにあります。

・栃木の強盗殺人事件を受け、警察庁は公式X(旧ツイッター)などに闇バイト対策のチラシを改めて掲載しています。学校での防犯教室などでも取り上げ、学校に通っていない少年に対しては支援団体を通じ注意啓発し、補導した際や逮捕者の立ち直り支援でもトクリュウに関わらせない取り組みを強める方針です。

#### ◎私だけに優しいヤクザなんていない～弁護士の警鐘

金融庁が昨年10月31日「いわき信用組合」(本店・福島県いわき市)に対して行政処分を実施したと発表しています。巨額不正融資をおこなった「いわき信用組合」、その一部が反社会的勢力に流れています。接触のきっかけは、1990年代、某金融機関と反社の癒着が社会問題となっており、その流れの中でいわき信用組合もターゲットとなり、街宣活動が繰り返され大口融資先の一人が「右翼団体との仲介役を務める」と申し出があり、解決料として3億円以上を要求され払ってしまったようです。福岡県弁護士会の鐘ヶ江弁護士は「助けられたことが弱みとなりどこまでも絞り尽くされるだけです。私だけに優しいヤクザなんていない」「現実の反社は人を支配し搾取する存在」「一度助けを求めると共犯者とされ逃げられなくなる」「どうか警察や弁護士を頼ってください」とXに投稿し、投稿は拡散され多くの共感を呼んでいます。